

RACE REPORT



**SUPER
FORMULA**

Round.08 **SUGO**

第8戦 スポーツランド SUGO

2025 年8月 10 日 (日)

決勝

天候：雨 路面：ウエット

#38 阪口 晴南

決勝：5 位

#39 大湯 都史樹

決勝：12 位

1 大会 1 レース制で行われるスポーツランド SUGO での第 8 戦。8 月 9 日 (土) に行われた公式予選では、阪口晴南が予選 3 番手と今季最上位につける一方、ポールポジションを狙う攻めの走りをみせた大湯都史樹は最終コーナーでクラッシュを喫し 12 番手と、悲喜こもごもの公式予選となっ

た SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING。チームは深夜までかかってクラッシュに見舞われた大湯車の修復作業を行い、しっかりと元どおりに戻してみせた。ただ、迎えた 8 月 10 日 (日) の決勝日、スポーツランド SUGO は朝から細かい粒の雨が降り続いていた。

PRACTICE フリー走行

8 月 10 日 (日) 9:30 ~ 10:00 天候：雨 路面：ウエット
ベストタイム #38 阪口晴南 1'14.186 / #39 大湯都史樹 1'15.203

予選日前日となる 8 月 8 日 (金) の時点から、決勝日の 8 月 10 日 (日) は終日雨となる天気予報が出ていたが、予報どおり午前 9 時 30 分からの決勝日フリー走行はウエットとなった。気温 24 度 / 路面温度 27 度というコンディションのもと始まったセッションに臨んだ阪口と大湯は、コースオープンとともに走行を開始した。

大湯は修復された車両の確認も行いながら、阪口とともに今シーズン初めて実戦で使用するウエットタイヤも確認していった。走り出しこそ一時雨脚が強くなったが、すぐに雨はパラパラと舞う程度となり、路面コンディションは少しずつ好転していくことになった。

そんな 30 分間のフリー走行で 12 周を走り、1 分 14 秒 186 というベストタイムを記録したのは阪口。順位としては 6 番手となった。

「ウエットコンディションで走ることができて良かったです。昨年からウエットタイヤが大きく変わっているので、その確認がメインでしたが、比較的グリップもしていますし、昨年よりも安全にレースができそうです」と昨年の SUGO で雨のなかクラッシュしていた阪口はフリー走行を振り返った。「開発してくださった皆さんに感謝していますし、良いレー

スができそうです。ただライフなどが難しくなることは予想されるので、うまくマネージメントしたいですね」

一方、大湯は 13 周を走り 1 分 15 秒 235 というベストタイム。19 番手でフリー走行を終えることになった。「クルマはしっかり直っていましたし、問題はありませんでした。ただ、フィーリングは悪くないのですが、まわりのタイムが速くて、パフォーマンスがまだ見えづらいです。とはいえ予選ではありませんし、タイムばかり追いかけないようにしたいです」と大湯は決勝に向けセットアップを進めた。



RACE

決勝レース

8月10日(日) 14:20～15:35 天候:雨 路面:ウエット
ベストタイム #38 阪口晴南 1'16.603 (7L) / #39 大湯都史樹 1'16.355 (17L)



午前のフリー走行の後も、スポーツランド SUGO はどんよりとした雲がかかり、細かい雨粒が注ぎ続けていた。決勝前のレコノサンスラップではやや雨脚が強くなるシーンもあり、路面コンディションはウエット。そんななか、気温 26 度／路面温度 28 度というコンディションのもと午後 2 時 20 分にセーフティカースタートで決勝レースが始まった。

6 周目にセーフティカーが退去し戦いの火ぶたが切って落とされたが、3 番手からスタートした阪口は、フリー走行の時点でウエットタイヤのライフを心配していたとおり、レース後半を重視したセットアップを施していた。その影響もあってか、1 コーナーで 4 番手スタートの #1 坪井翔にオーバーテイクを許し、4 番手にドロップしてしまう。

さらにその後方では、決勝レースに向けて攻めのセットアップ変更を行っていた大湯が 2 コーナーでスピンしてしまった。オーバーステアが強く「誰が乗ってもスピンすると思います」という大湯だったが、幸い後続車両との接触やグラベルストップはなく、最後尾までドロップしてしまったもののコースに復帰した。

SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING の 2 台はポジションを下げてしまったが、阪口はペースもトップ 3 からは大きく離れているわけではなく、また大湯もオーバーステアの車両を手懐けながら、ウエットのなか追い上げを目指していった。そんななか、10 周目には 8 番手を走っていた #64 佐藤蓮がスピン。グラベルにストップしてしまい、レースは二度目のセーフティカーランとなった。

レースは 15 周目にリスタートを迎え、阪口は 4 番手、大湯は 18 番手で中盤の戦いを進めていく。この間にもスピンやコースアウトが起きるなど各所でさまざまなアクシデントが起きるが、19 周目には 12 番手を争っていた #12 三宅

淳詞と #14 大嶋和也が接触。#12 三宅がクラッシュしたことで、3 回目のセーフティカーランとなった。この時点で、中団グループの中にはレインタイヤを交換するドライバーが現れており、追い上げを進めていた大湯は 13 番手に浮上した。

レースは 28 周目にリスタートを迎えるが、再開後、阪口にはペースに優る #8 福住仁嶺が接近。36 周目に先行を許してしまった。その後、阪口は #8 福住に仕掛けていったが、#8 福住のペースが良く、#1 坪井もオーバーテイク。阪口も #1 坪井に最後までオーバーテイクを仕

掛けたものの、レースの最大延長時間になってしまうことに。阪口は 5 位でフィニッシュすることになった。

一方、大湯はレース後半、#20 高星明誠や #50 小出峻とバトルを展開。最後は 12 位でフィニッシュし、ポイント獲得はなかった。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING にとっては望んだ結果にはなかったが、苦闘のなかでさまざまな糧を得ることになった。

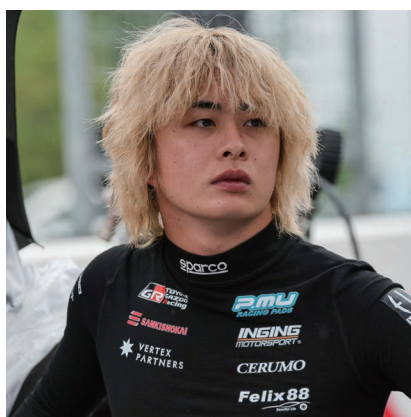


COMMENTS ドライバー／監督コメント



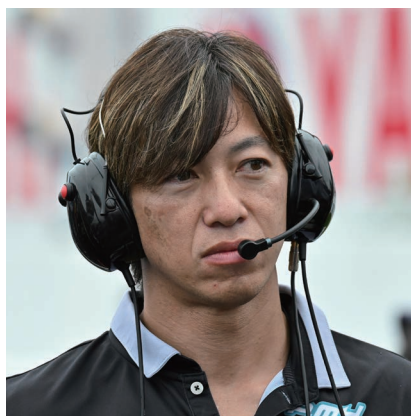
38 阪口 晴南 SENA SAKAGUCHI

「トップのペースが上がらないなかで上位は緊迫したレース展開となりましたが、僕はレース後半を重視したセットアップだったこともあり、セーフティカーラン明けなどは苦しい戦いとなりました。ただそんな中でも自分としても強くならなければと思いますし、パフォーマンスを補う力を見せなければと思うので、その点は本当に反省しています。チームとしては良いレースだったかもしれませんが、クルマとしては表彰台に乗るパフォーマンスはあったと思いますが、展開をうまく引き込めなかったと思います。今季最上位タイではあるものの、自分としては納得できないレースでした。今季あと4レースありますし、冷静に強いレースをするために頑張っていきたいです」



39 大湯 都史樹 TOSHIKI OYU

「決勝に向けてエンジニアと話し攻めたセットアップにしたのですが、少し攻め過ぎましたね（苦笑）。最終コーナーは毎周『走りたくない』と思うくらいシビアなセットで、オーバーステア寄りの方向に敢えて設定していたのですが、度合いを間違えていました。ただ、何も得ないよりも攻めていく姿勢の方が得られるものは大きいですし、結果的にタイヤのデグラデーションも大きかったのでポイントは獲れなかったですが、悪くないレースになったのではないかと考えています。これを糧にしていきたいです。チームの皆さんの頑張りでクルマを直してくださったことも感謝しています。ただ現場で直したもので、再度しっかり見直して次戦臨みたいです」



立川 祐路 監督 YUJI TACHIKAWA

「阪口選手はレース序盤から最後まで良い戦いをしてくれていましたが、表彰台には一歩足りませんでした。ただトップ争いの集団のなかで終始戦うことができていたので、その点は良かったと思います。この経験を次戦に繋げていきたいですね。大湯選手については、スタート前に思い切ったセットアップ変更をしたのですが、その影響で思っていたよりもオーバーステアになってしまいました。その後はずっとクルマのバランスと格闘しながらのレースになってしまったので、苦しい戦いとなりましたが、最後までしっかりと戦い抜いてくれました。今週は流れがない中だったので、次戦しっかりと仕切り直したいですね。今回も応援ありがとうございました！」



RACE REPORT

RESULT リザルト

第8戦スポーツランド SUGO 決勝結果

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Total Time	Gap
1	15	岩佐歩夢	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	48	1h15'40.082	
2	37	S. フェネストラズ	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'40.709	0.627
3	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'41.918	1.836
4	1	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'45.000	4.918
5	38	阪口晴南	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'45.315	5.233
6	65	I. オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	48	1h15'47.337	7.255
7	4	Z. オサリバン	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'47.796	7.714
8	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	48	1h15'48.108	8.026
9	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'49.553	9.471
10	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	48	1h15'49.948	9.866
11	20	高星明誠	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'50.031	9.949
12	39	大湯都史樹	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'51.152	11.070
13	50	小出峻	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	48	1h15'52.637	12.555
14	28	小高一斗	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'58.196	18.114
15	16	野尻智紀	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	48	1h15'58.795	18.713
16	29	野中誠太	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'59.778	19.696
17	19	O. ラスムッセン	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h15'59.820	19.738
18	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h16'04.752	24.670
19	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD 01F	48	1h16'44.599	1'04.517
20	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	47	1h16'14.974	1 Lap
以上完走							
	12	三宅淳詞	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	19	31'26.902	29 Laps
	64	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	25'08.794	36 Laps

ドライバーランキング（上位）

Rank.	No.	Driver	Total
1	1	坪井翔	95
2	15	岩佐歩夢	90
3	6	太田格之進	87
4	5	牧野任祐	74
5	16	野尻智紀	57
6	37	S. フェネストラズ	34
7	38	阪口晴南	33
8	65	I. オオムラ・フラガ	30
9	64	佐藤蓮	30
10	8	福住仁嶺	28
13	39	大湯都史樹	16

チームランキング

Rank.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	149
2	TEAM MUGEN	128
3	VANTELIN TEAM TOM'S	122
4	PONOS NAKAJIMA RACING	58
5	Kids com Team KCMG	50
6	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	48
7	KONDO RACING	29
8	docomo business ROOKIE	13
9	San-Ei Gen with B-Max	3